

令和5年度

事業実績報告書

学校法人 福山大学

令和5年度 学校法人福山大学事業実績報告書

令和6年5月23日

1. 法人の概要

(1) 基本情報

法人名 福山大学
理事長名 鈴木 省三
住 所 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
電話番号 084-936-2111
FAX 番号 084-936-2213
U R L https://www.fukuyama-u.ac.jp/Information_disclosure/
設置大学 福山大学 広島県福山市東村町字三蔵985番地の1
福山平成大学 広島県福山市御幸町上岩成正戸117-1
※学部・学科等については3頁に記載のとおり。

(2) 建学の精神

【福山大学】

福山大学は、地域社会に広く開かれた大学として、学問にのみ偏重するのではなく、真理を愛し、道理を実践する知行合一の教育によって、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行う。

【福山平成大学】

福山平成大学の建学の理念は、あくまでも人間性を尊重し、調和的な全人格陶冶を目指す全人教育を行うことである。

(3) 学校法人の沿革

昭和50年1月10日	学校法人福山大学及び福山大学設置認可。
昭和50年4月1日	福山大学開学。経済学部（経済学科）、工学部（電子・電気工学科、土木工学科）開設。
昭和51年4月1日	福山大学工学部建築学科開設。
昭和54年4月1日	福山大学大学院工学研究科（電子・電気工学専攻修士課程、土木工学専攻修士課程）開設。
昭和57年4月1日	福山大学薬学部（薬学科、生物薬学科）開設。
昭和61年4月1日	福山大学工学部情報処理工学科、生物工学科開設。
昭和62年4月1日	福山大学大学院薬学研究科（医療薬学専攻修士課程）開設。
平成元年4月1日	福山大学経済学部経営情報学科、工学部食品工学科開設。
平成2年4月1日	福山大学大学院工学研究科（生物工学専攻 修士課程）開設。
平成3年4月1日	福山大学工学部機械工学科開設。福山大学大学院経済学研究科（経済学専攻修士課程）開設。福山大学大学院工学研究科（情報処理工学専攻修士課程）開設。
平成5年12月21日	福山平成大学設置認可。

平成 6 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科(建築学専攻修士課程)開設。 福山平成大学開学。経営学部(経営情報学科、経営法学科、経営福祉学科)開設。
平成 7 年 4 月 1 日	福山大学大学院工学研究科「生物工学専攻(修士課程)」を「生命工学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院薬学研究「医療薬学専攻(修士課程)」を「医療薬学専攻(博士前期課程)」に名称変更。福山大学大学院工学研究科(機械工学専攻修士課程)、工学研究科(電子情報工学専攻博士課程)、工学研究科(生命工学専攻博士後期課程)、薬学研究科(医療薬学専攻博士後期課程)開設。
平成 8 年 4 月 1 日	福山大学経済学部国際経済学科、大学院工学研究科(地域空間工学専攻博士課程)開設。
平成 10 年 4 月 1 日	福山大学工学部海洋生物工学科、大学院工学研究科(設計生産工学専攻博士課程)開設。
平成 11 年 4 月 1 日	福山大学工学部「土木工学科」を「建設環境工学科」に「食品工学科」を「応用生物科学科」に名称変更。
平成 12 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部人間文化学科、同環境情報学科開設。 福山平成大学大学院経営学研究科経営情報学専攻修士課程、同経営法学専攻修士課程開設。
平成 14 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部(生物工学科、応用生物科学科、海洋生物工学科)開設。
平成 16 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部心理学科開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科、健康スポーツ科学科開設。
平成 18 年 4 月 1 日	福山大学経済学部税務会計学科、薬学部薬学科(6年制)開設。 福山平成大学福祉健康学部福祉学科社会福祉学専攻、同幼児保育学専攻開設。
平成 19 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科、工学部建築・建設学科開設。福山大学大学院人間科学研究科心理臨床学専攻修士課程開設。 福山平成大学看護学部看護学科開設。
平成 20 年 4 月 1 日	福山大学生命工学部生命栄養科学科開設、同生命工学部海洋生物工学科を海洋生物科学科に名称変更。 福山平成大学福祉健康学部こども学科開設。同経営学部経営情報学科を経営学科に名称変更。
平成 21 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・電気工学科を電子・ロボット工学科に名称変更。 福山平成大学大学院スポーツ健康科学研究科スポーツ健康学専攻修士課程、看護学研究科看護学専攻修士課程開設。
平成 23 年 4 月 1 日	福山平成大学助産学専攻科開設。
平成 24 年 4 月 1 日	福山大学大学院薬学研究科医療薬学専攻博士課程(4年制)開設。
平成 26 年 4 月 1 日	福山大学工学部電子・ロボット工学科をスマートシステム学科に、工学部建築・建設学科を建築学科に名称変更。
平成 28 年 4 月 1 日	福山大学人間文化学部メディア情報文化学科を人間文化学部メディア・映像学科に名称変更。
令和 6 年 4 月 1 日	福山大学工学部スマートシステム学科を工学部電気電子工学科に、生命工学部生物工学科を生命工学部生物科学科に、生命工学部生命栄養科学科を生命工学部健康栄養科学科に名称変更。

(4) 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和5年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
学 部	経済学部	経済学科	397	170	174	680	682	
		国際経済学科	49	50	22	200	132	
		税務会計学科	75	50	40	200	151	
	人間文化学部	人間文化学科	127	50	42	200	187	
		心理学科	160	50	67	200	229	
		メディア・映像学科	111	50	51	200	170	
	工学部	スマートシステム学科	42	30	7	120	67	
		建築学科	142	70	59	280	253	
		情報工学科	166	50	53	200	215	
		機械システム工学科	73	50	17	200	105	
	生命工学部	生物工学科	60	50	17	200	101	
		生命栄養科学科	40	50	26	200	111	
		海洋生物科学科	272	100	110	400	444	
	薬学部	薬学科(6年制)	357	150	106	900	632	
	計			2,071	970	791	4,180	3,479
大 学	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	3	8	2	16	7	
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	16	10	9	20	16	
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	2	2	1	4	3	
		修士課程 建築学専攻	2	3	1	6	4	
		修士課程 情報処理工学専攻	1	2	1	4	1	
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0	
		博士前期課程 生命工学専攻	3	8	1	16	3	
	修士課程、博士前期課程 計			27	35	15	70	34
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0	
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0	
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0	
博士後期課程 生命工学専攻		1	4	1	12	1		
薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	1	3	1	12	1		
博士課程、博士後期課程 計			2	14	2	45	2	
計			29	49	17	115	36	
合 計			2,100	1,019	808	4,295	3,515	

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	138	50	62	200	189
	福祉健康学部	福祉学科	47	60	22	240	90
		こども学科	76	50	42	200	172
		健康スポーツ科学科	136	100	98	400	375
	看護学部	看護学科	193	80	78	320	308
計			590	340	302	1,360	1,134
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	1	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	3	5	3	10	6
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	2	5	2	10	4
	計			6	15	5	30
専攻科	助産学専攻科		24	10	9	10	9
合計			620	365	316	1,400	1,153

収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福山大学	学部	92.4	93.1	90.6	87.5	83.2
	大学院	40.9	36.5	40.0	35.7	31.3
福山平成大学	学部	85.5	85.8	84.0	84.1	83.4
	大学院	23.3	30.0	26.7	26.7	33.3
	専攻科	40.0	70.0	100.0	70.0	90.0

(6) 役員概要 (令和5年5月26日現在)

理事数 17人 理事定数 14人以上18人まで

役職名	氏名	就任年月日	現職等	常勤・非常勤の別	担当する職務内容
理事長	鈴木 省三	H23. 5. 26	(学)福山大学理事長	常勤	経営・財務
副理事長 常務理事	尾崎 史郎	H28. 5. 27	(学)福山大学統括参事・ 福山大学参事	常勤	経営・財務・企画・ 産学連携
副理事長	富士 彰夫	H24. 5. 27	福山平成大学学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携・国際連携
理事	大塚 豊	H29. 5. 26	福山大学学長	常勤	経営・教育・研究・ 教育連携
理事	岡崎 文憲	H26. 5. 27	(学)福山大学参与・ 福山大学参事	常勤	財務・企画調整
理事	鶴田 泰人	H31. 4. 1	福山大学副学長・薬学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 産学連携
理事	川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営 学部長	常勤	教育・研究・企画・教育連携・ 産学連携・国際連携・危機管理
理事	平 伸二	R 2 . 5. 27	福山大学副学長・人間文化 学部教授	常勤	教育・研究・企画・ 危機管理
理事	菌頭 里美	R 4. 5. 27	(学)福山大学事務局長・ 福山大学参事	常勤	財務・企画
理事	牟田 泰三	H28. 5. 27	元福山大学学長・元広島大学学長	非常勤	教育・研究
理事	小林 義和	R 5. 5. 24	(社福)一れつ会相談役	非常勤	経営・財務・教育連携
理事	吉留 義史	R 4. 5. 27	福山平成大学副学長・ 事務局長	常勤	企画・教育連携・ 産学連携
理事	安保 昇	R 5. 5. 24	安保昇税理士事務所所長	非常勤	財務
理事	小澤 興朗	H24. 5. 27	(一財)国際教育協会代表理事	非常勤	教育連携・国際連携
理事	松本 茂太郎	R 3. 7. 22	福山ガス(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	小丸 成洋	R 1. 7. 20	福山商工会議所会頭 福山通運(株)代表取締役社長	非常勤	経営・財務・産学連携
理事	秋山 智昭	R 2. 5. 27	弁護士	非常勤	コンプライアンス

監事数 2人 監事定数 2人

氏名	就任年月日	常勤・非常勤の別
光波 祥二郎	H28. 5. 27	常勤
山本 昭人	R 5. 5. 24	常勤

私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

本法人は、令和2年度から私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）に、令和4年度から私大協役員賠償責任保険制度（サイバーリスク保険）に加入している。

1）私大協役員賠償責任保険制度（役員賠償責任保険）

団体契約者 日本私立大学協会
 被保険者 記名法人 学校法人福山大学、個人被保険者 理事・監事、評議員
 補償内容 学校法人におけるガバナンス体制構築の中核を担う学校法人の役員個人に対する賠償責任や争訟費用等を補償
 支払限度額 5億円

2）私大協役員賠償責任保険制度（サイバーリスク保険）

団体契約者 日本私立大学協会
 被保険者 学校法人福山大学
 補償内容 サイバー攻撃やヒューマンエラーによる個人情報漏洩に起因した賠償責任や個人情報保護法の改正に伴って義務化された事項の対応に必要な各種費用を補償
 支払限度額 賠償額1億円及び費用5千万円

（7）評議員の概要（令和5年5月26日現在）

評議員数 35人 評議員定数 32人以上39人まで

氏名	就任年月日	現職等
赤松 治美	H24. 5. 27	福山商工会議所副会頭・(株)アカシン 代表取締役会長
伊丹 利明	R 4. 5. 27	福山大学副学長・生命工学部教授
井上 敦子	R 4. 5. 27	福山大学薬学部長
入鹿 泰彰	R 4. 5. 27	福山平成大学同窓会会長・(社福)敬友会あおぎ勤務
占部 誠	H18. 5. 27	占部建設工業(株)代表取締役会長
多木 稔明	H19. 5. 27	福山大学経済学部同窓会理事・福山産業(有)代表取締役社長
大島 衣恵	H27. 5. 26	喜多流能楽師・エリザベト音楽大学非常勤講師
大高 弘士	R 4. 5. 27	福山大学事務局長
岡崎 文憲	H17. 5. 27	(学)福山大学参与・福山大学参事
尾崎 史郎	H27. 5. 26	(学)福山大学統括参事・福山大学参事
川久保 和雄	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・経営学部長
北川 祐治	H24. 5. 27	府中商工会議所会頭・(株)北川鉄工所 代表取締役会長・(兼)社長
喜多村 崇	H20. 12. 19	福山大学経済学部同窓会理事・青葉警備保障(株)勤務
熊野 弘幸	R 4. 5. 27	福山通運(株)代表取締役副社長
小林 義和	R 2. 5. 27	(社福)一れつ会 相談役
佐々木 重綱	H12. 12. 21	佐々木産業(有)会長
澤崎 眞彦	R 2. 5. 27	東京学芸大学名誉教授・日本教材学会会長
島谷 和秀	R 5. 5. 26	福山平成大学後援会会長・広島県立東高等学校校長
鈴木 省三	H26. 5. 27	(学)福山大学理事長
藪頭 里美	H29. 5. 26	(学)福山大学事務局長・福山大学参事
鶴田 泰人	H28. 5. 27	福山大学副学長・薬学部教授
寺岡 晋作	H24. 5. 27	(株)ロイヤルコーポレーション 代表取締役社長
永井 純子	H30. 5. 27	福山平成大学副学長・福祉健康学部教授
棗田 浩成	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(株)三幸社 代表取締役社長
林 克士	H24. 5. 27	福山商工会議所名誉会頭・靱鉄道(株)代表取締役会長
平 伸二	H28. 5. 27	福山大学副学長・人間文化学部教授
松本 壮一郎	R 4. 5. 27	山陽染工(株)代表取締役社長

水田 博之	H30. 5. 27	福山大学卒業生・(有)パウワウ 代表取締役社長
牟田 泰三	H22. 6. 1	元福山大学長・元広島大学長
村上 俊二	H28. 5. 27	青葉出版(株)代表取締役会長
山本 覚	R 5. 5. 26	福山大学生命工学部長
山本 芳嗣	R 4. 5. 27	福山大学後援会副会長・ホーコス(株)勤務
吉田 大造	H24. 5. 27	製鐵原料(株)代表取締役社長
吉留 義史	H28. 5. 27	福山平成大学副学長・事務局長
渡邊 不二夫	H28. 5. 27	フードサポートワタナベ 代表

(8)教職員の概要 (令和5年5月1日現在)

【福山大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
経済学部			16	7	10	2		35	80 ※法人職員 を含む。
人間文化学部		1	12	12	3		2	30	
工学部			20	11	4	2	2	39	
生命工学部		1	22	5	6	1	10	45	
薬学部		1	19	12	6	4	8	50	
センター他	1		3	6	6	4	1	21	
計	1	3	92	53	35	13	23	220	80

(常勤教員 平均年齢 51.5 歳 常勤事務職員等 平均年齢 46.5 歳)

非常勤教員 人数 140 人 平均年齢 53.3 歳

非常勤事務職員等 人数 18 人 平均年齢 64.4 歳

【福山平成大学】

常勤教職員

(単位：人)

	学長	副学長	教授	准教授	講師	助教	助手	計	事務職員等
学長	1							1	21
経営学部		1	6	1	4	1		13	
福祉健康学部		1	17	11	9	2	1	41	
看護学部			9	4	8	3	2	26	
センター				1	1	1	1	4	
計	1	2	32	17	22	7	4	85	

(常勤教員 平均年齢 52.4 歳 常勤事務職員等 平均年齢 47.8 歳)

非常勤教員 人数 71 人 平均年齢 53.5 歳

非常勤事務職員等 人数 2 人 平均年齢 60.0 歳

2. 事業の概要

(1) 大学教育改革等の推進

全学共通教育と専門教育、キャリア教育、資格取得教育など、教育の各側面に係る実践の質的向上を一層図り、必要な修学環境の整備に努めた。授業評価アンケートや卒業生アンケートの結果を授業改善に活かすとともに、学修成果の可視化をより進展させた。担任教員は個々の学生の可視化された学修成果をきめ細かい学生指導に役立て、大学および各学部はPDCAサイクルを意識して、学科並びに大学全体としての教育目標達成度の判定に基づき、必要な改善を行った。さらに、福山大学ではブランディング推進のための研究プロジェクトへの学生の積極的参加を促し、全学部を挙げて「地域にとって頼りがいのある地域の知の拠点」となることを目指し、地域の未来を創る「未来創造人」として学生を育てることに全力を傾注した。

(2) 国家試験合格状況（令和6年3月発表分）

第38回管理栄養士国家試験

福山大学生命工学部生命栄養科学科 新卒 14人 / 18人 (77.8%)

第109回薬剤師国家試験

福山大学薬学部薬学科 118人 / 201人 (58.7%)

内訳 新卒 78人 / 106人 (73.6%)

既卒 40人 / 95人 (42.1%)

第36回介護福祉士国家試験、第36回社会福祉士国家試験

福山平成大学福祉健康学部福祉学科

介護福祉士 新卒 3人 / 3人 (100.0%)

社会福祉士 新卒 12人 / 19人 (63.2%)

精神保健福祉士 新卒 6人 / 7人 (85.7%)

第113回看護師国家試験、第110回保健師国家試験、第107回助産師国家試験

福山平成大学看護学部看護学科

看護師 新卒 64人 / 69人 (92.8%)

保健師 新卒 15人 / 15人 (100.0%)

助産師 新卒 9人 / 9人 (100.0%)

(3) 就職状況

(単位：%)

大学	学部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
福山大学	経済学部	100.0	99.5	98.6	99.6	99.6
	人間文化学部	97.8	98.9	100.0	100.0	100.0
	工学部	100.0	100.0	100.0	99.3	99.4
	生命工学部	100.0	99.4	99.4	99.4	100.0
	薬学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.7	99.6	99.5	99.6	99.7
福山平成大学	経営学部	100.0	100.0	100.0	97.7	100.0
	福祉健康学部	99.3	99.4	100.0	100.0	100.0
	看護学部	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	全体	99.6	99.6	100.0	99.6	100.0
(参考) 全国大学平均		98.0	96.0	95.8	97.3	98.1

(4) 広報活動の推進

福山大学ホームページ(公式 WEB サイト)は、来訪者の目的に配慮した構造へ変え、各学部、学科紹介ページを閲覧者の理解を深めるデザインへ一新、さらに高校生の本学への興味、関心を高める動画コンテンツを充実させるなどリニューアルを行った。

例年行っている大学案内、入試のしおり、さん・サンメルマガ(年3回)、学報(年4回)の発行、テレビCM、新聞広告、バス、駅ホームや空港デッキへの看板広告などを行うとともに新聞記事やテレビ等の情報番組での広報のため、市政記者クラブに学内の行事・トピックス等の情報提供を行ったことに加え、特に入試に連動させた YouTube 動画広告や中四国地区初設置となる福山大学人間文化学部心理学科の司法犯罪コースの入試時期テレビCMを行った。

(5) グローバル化の推進

福山大学では、新たに河北工業大学(中国)と大学間学術教育交流協定の締結を行い協定校は10カ国32大学となった。

派遣・留学については、福山大学では、米国での語学研修、国際経済学科における韓国、インドネシア・バリ島、ニュージーランドでの海外研修及び生物工学科のラオス研修を実施し計36名の学生を派遣した。大学間学術教育交流協定に基づく受け入れは、編入学生が6名、交換留学生在が5名であった。大学教育センターが協定を結ぶインディアナ大学(米国)から英語ティーチングアシスタント4名を受け入れ、福山平成大学では、韓国での語学研修、経営学科のベトナム研修、健康スポーツ科学科のオーストラリア研修、韓国研修を実施し計39名の学生を派遣した。

また、両大学共に科学技術振興機構の国際青少年サイエンス交流事業(さくらサイエンスプログラム)に採択され、福山大学では、プリンス・オブ・ソクラ大学(タイ)、ラジャモンコン工科大学スリビジャヤ校(タイ)及びベロール工科大学(インド)から学生8名と教員4名が来校、福山平成大学では、タイのプリンス・オブ・ソクラ大学から学生9名と教員1名が来校し、学生と交流を行うなどグローバル化の推進を図った。

さらに福山大学では、「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」が文部科学省の留学生就職促進教育プログラムに認定された。

(6) 高等学校との高大連携の充実

現在、福山大学では高等学校41校、1教育委員会と、福山平成大学では高等学校32校、1教育委員会と教育に関する交流協定を締結している。

教育ネットワーク中国主催の高大連携公開講座は、福山大学において82人、福山平成大学において17人の高校生が受講し、中高大連携公開講座はオンラインにより開講され、福山大学は1人、福山平成大学は27人の中・高校生が受講した。

大学研究室見学は、福山大学の17研究室に中・高校生100人の参加があった。大学体験セミナーは、福山大学、福山平成大学両校の教員による模擬講義を福山大学において実施し高校生257人の参加があった。高等学校への出張講義は、福山大学は1校、福山平成大学は11校で実施した。大学見学は、福山大学では11校453人、福山平成大学では9校247人が来学した。

(7) 地域社会との連携推進

学校法人福山大学社会連携推進センター、福山大学社会連携センター及び共同利用センター、福山平成大学びんご経営リサーチセンター及び地域交流センターを拠点として学校、病院、地元企業及び自治体等の地域社会との連携を図った。

公開講座の開催、市民フォーラム(食と健康のライフサイエンス)の開催、松永駅前活性化プロジェクト(プロジェクトM)による地域住民との連携、じばさんフェア、ビジネス交流フェアへの参加や地元企業・行政等との受託・共同研究を引き続き行っている。

さらに学校法人福山大学社会連携推進センターでは、生涯学習支援部門及びリスキリング支援部門を設置し「まなびステーション福山大学」の令和6年4月開設に向けて準備を進めた。

(8) 教育・研究支援のための寄付金募集活動の推進

学術研究や教育等の充実・発展のために、福山大学においては、研究ブランディング事業他

25件の研究・教育支援基金、福山平成大学においては、6件の研究・教育・地域交流支援基金を設置している。募集については、ホームページに掲載した他、福山大学卒業生並びに地元企業等への募集も継続した。

(9) 施設、設備の整備・充実

施設としては、福山大学においては、1号館講義室照明器具のLED化工事、内海生物資源研究所水族館大水槽改修工事、大学会館3階クラフト室空調機更新及びホール内トイレ改修工事、20号館女子トイレ及び外壁改修工事、14-2号館屋上防水改修工事、排水水質確認用の高性能窒素・リン測定装置の導入など、福山平成大学においては、爽風会館の教員宿舎から研修施設への改修工事、3・4・12号館講義室照明器具のLED化工事、経年劣化に伴うサッカー場人工芝貼替工事、2・3・4号館屋上防水補修工事などを行った。

また、令和6年12月末竣工予定の福山平成大学学生会館新築工事について、令和5年9月に地鎮祭を行い建築工事を進めている。

主要設備としては、福山大学では、患者モデルシミュレーター、無線アクセスポイント、1・18・28・31号館の教室プロジェクタ、卒業研究用ハイスペックパソコン、超純水製造システムなどの更新、福山平成大学では、3号館の教室プロジェクタ、体組成測定システムなどの更新を行い、両大学における学生の学修環境の整備・充実を図った。なお、患者モデルシミュレーターは、文部科学省の補助金を、無線アクセスポイントは広島県の補助金を活用し導入した。

(10) 新型コロナウイルス感染症への対応状況

新型コロナウイルス感染症については、令和5年5月8日に新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類から5類に移行されたため、感染症拡大防止対策を終了した。

(11) 既設学科の名称変更及び入学定員の見直し

① 名称変更

福山大学工学部スマートシステム学科を同学部電気電子工学科、生命工学部生物工学科を同学部生物科学科、生命工学部生命栄養科学科を同学部健康栄養科学科への名称変更の届出が文部科学省に受理され、令和6年4月1日から名称変更となった。

② 入学定員の見直し

福山大学において、次の学科の入学定員の見直しを行い、収容定員関係学則変更の届出が文部科学省に受理され、令和6年4月1日から入学定員の変更となった。

経済学部経済学科（170人を180人に増）

経済学部国際経済学科（50人を40人に減）

人間文化学部心理学科（50人を70人に増）

工学部情報工学科（50人を60人に増）

生命工学部生命栄養科学科（健康栄養科学科に名称変更）（50人を40人に減）

生命工学部海洋生物科学科（100人を110人に増）

薬学部薬学科（150人を110人に減）

(12) 法人の活動

① 理事会及び評議員会開催の状況

理事会は、令和5年5月23日（火）、令和5年7月19日（水）、令和5年10月20日（金）、令和5年12月21日（木）及び令和6年3月20日（水）に開催した。

評議員会は、令和5年5月23日（火）及び令和5年12月21日（木）に開催した。

② 会計監査の状況

監事の会計監査は、令和6年5月21日（火）に資金収支計算書、活動区分資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、固定資産明細表、借入金明細表、基本金明細書、財産目録について行われ、監査の結果、学校会計基準に準拠し適正と認められた。

(13) 中期計画の進捗・達成状況

① 福山大学、福山平成大学の「中期目標・中期計画」の進捗・達成状況

福山大学

「目的・使命」に関しては、建学の精神に沿って策定された目標を遵守し、人間性を尊重し、調和的な人格陶冶を目指す全人教育を行った。

「教育」に関しては、厳格な成績評価をより推進するために GPA から Functional GPA へに令和7年度から変更することを決めた。レーダーチャートを用いて学生の学修成果を可視化するアセスメントシステムは、学科ごとに定める資質（中目標）の妥当性等について再検討を行うとともに、学科レベルや大学レベルでの教育プログラムの評価方法も従来の4段階評価から10段階評価に変更し、よりきめ細かな解析を令和6年度から実施できるようにした。

「学生支援」に関しては、担任制のきめ細かい指導に努め、令和5年度に発生した大麻取締法違反に際しても、薬学部教授による薬物乱用防止研修、心理学科教授による立ち直り支援を実施して、受入れた学生の教育・支援に努めた。また、令和6年4月から改正「障害者差別解消法」で合理的配慮の義務化が始まることに対応するため専門の相談員を配した「学生支援相談窓口」の新設準備を整えた。

「学生受入れ」に関しては、第三者評価で指摘されていたアドミッション・ポリシーの表記方法について、受験生に分かりやすい簡潔な表現に変更した。一方で、入学者定員充足率は81.5%と前年度を下回った。このため、中期計画で具体的方法としてあげている、入学者選抜における特色を出した選抜方法の検討を開始した。

「研究」に関しては、福山大学ブランドの研究プロジェクト「瀬戸内の里山・里海学」については、9のテーマで研究が実施され、国内外の学術誌、学会での公表、地元メディアでの紹介など順調に推移している。また、競争的外部資金の獲得は、科研費の採択数が41件と広島県の私立大学で第一位、受託研究及び共同研究も25件を受け入れた。

「地域貢献」に関しては、一般市民向けの公開講座（統一テーマ「コロナ明けの日常/非日常」）を5回開催した。また、高大連携として、高校から依頼のあった大学見学等で13校778名の生徒を受け入れた。この他、自治体・企業等との連携深化を目指して、社会連携センターが「研究者情報一覧」「研究成果発表集」をHP公開した。

「国際交流」に関しては、令和4年度に続いて「さくらサイエンスプログラム」に採択され実施するとともに、「備後・安芸圏域留学生就職・定着促進教育プログラム」が文部科学省の留学生就職促進教育プログラムに認定された。協定校は河北工業大学が増えて10カ国32大学となり、コロナ禍の影響から脱却して協定校との交流も復活した。

「内部質保証」については、各部署の自己点検評価が従来の毎年実施では時間的制約のために細部の精査不足も生じていたことから、より徹底した評価の実施を目指すため、2年に1回に変更した。Institutional Research(IR)室では専任の教員配置に加え、兼任教員による本格的なデータ分析作業が進み、「Functional GPA と従来型 GPA の比較」「アセスメント・ポリシーの検証」「入試区分と入学後の成績を用いた分析」を実施して、教学改革及び入試改革に大いに役立つ情報の提供が行われた。

福山平成大学

「目的・使命」に関しては、建学の精神に基づく教育理念である「全人教育」「人間と自然を尊ぶ教育」「心情と愛の教育」「知行合一の教育」を堅持し、引き続き本学教育の根底とした。

「教育」に関しては、授業評価アンケートやGPCを活用するとともに、授業参観FDを実施して授業の質の向上を図った。また、社会のデジタル化に対応すべく数理・データサイエンス・AI教育プログラムの充実にも努めるとともに全学的に推進し、履修者数は増加した。

「学生支援・教育環境」に関しては、少人数教育の利点を最大限生かしてきめ細かい教育・学生指導に努めた。その結果、退学・除籍率の低下、就職率100%の達成と共に、国家試験や資格試験の高い合格率維持を実現した。また、障害のある学生に対する対応については、障害のある学生対応委員会を設置するなど体制を整えた。

「学生受入れ」に関しては、学科の魅力向上や広報強化を図り、入学定員充足率は88.8%にまで改善した。令和7年度入学者選抜より看護学科においても総合型選抜を導入するとともに、看護学科を除く4学科では、総合型選抜の試験実施方法の一つにオープンキャンパス参加型を採用することを決定した。

「研究」に関しては、研究力強化を令和5年度の重点目標の一つに掲げて担当副学長の下に進め、FD開催等により教員の支援を図るとともに、若手研究者対象の全学横断的な自主研究

サークル「コンベルサ・ラウンジ」を発足させて教員の意識改革を図った。その結果、科学研究費などの外部競争的資金への応募件数や論文の投稿数が増加した。

「社会連携・国際交流」に関しては、公開講座や各学科の地域連携活動をコロナ前の水準状況に戻した。また、株式会社ひろぎんホールディングスとの包括連携協力に関する協定を締結し、第1回の連携事業として経営講演会を開催して、多数の参加者を得た。例年実施している高校生を対象とした英語プレゼンテーションコンテストは、参加校数が倍増する盛況で地元高校に定着することができた。国際交流では、韓国、ベトナム、オーストラリア等への海外研修を再開したほか、新たに、前年度に学術交流に関する協定を締結した釜山外国語大学校（韓国）での韓国語短期研修を実施した。看護学科では、王立プリンス・オブ・ソンクラ大学（タイ）看護学部との「さくらサイエンスプログラム」が採択され、多数の教職員・学生が参加して今後の国際交流につながる成功を収めた。

「内部質保証」に関しては、教員の自己点検評価とともに、新たに「福山平成大学中期目標・中期計画」と整合的な次年度の目標・計画書を作成し、年度末に目標の達成度を大学として自己点検する流れを確立し、PDCAサイクルに有効活用した。また、毎年実施している卒業生アンケート・卒業生就職先アンケートを行い、分析結果を各学科の教育に反映させるよう努めた。

②教職員人事に関する状況

専任教員数（助手を除く。）は、福山大学197名、福山平成大学81名で、設置基準を福山大学は26名、福山平成大学は8名上回っているものの、専任教職員数は中期計画を下回っている。

③施設整備計画に関する進捗状況

令和5年度に爽風会館の教員宿舎から研修施設への改修工事は完了した。令和6年度に竣工を予定している福山平成大学14号館の工事を予定どおり着手した。また、福山大学聚志館（ものづくり工房）新築工事については令和7年度に変更した。福山大学女子学生寮の新築・改修工事については令和9年度に変更した。（今後の入寮希望学生数によっては延伸することもある。）

④財務計画に関する進捗状況

令和5年度の基本金組入前当年度収支差額を518,286千円の支出超過と見込んでいたが、学生生徒等納付金収入の減等により904,030千円の支出超過となった。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表関係

ア) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産	59,488,396	59,332,723	58,017,187	57,662,248	56,592,472
流動資産	5,320,380	5,239,149	5,266,079	5,031,827	4,869,400
資産の部合計	64,808,776	64,571,872	63,283,266	62,694,075	61,461,872
固定負債	2,130,617	2,133,089	2,006,898	1,896,514	1,805,655
流動負債	2,717,936	2,633,623	2,538,928	2,435,750	2,198,436
負債の部合計	4,848,553	4,766,712	4,545,826	4,332,264	4,004,091
基本金	56,167,359	56,263,973	55,354,235	55,233,881	55,245,221
繰越収支差額	3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560
純資産の部合計	59,960,223	59,805,160	58,737,440	58,361,811	57,457,781
負債及び純資産の部合計	64,808,776	64,571,872	63,283,266	62,694,075	61,461,872

イ) 財務比率の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
固定資産構成比率	91.8%	91.9%	91.7%	92.0%	92.1%
有形固定資産構成比率	43.7%	49.2%	49.7%	49.2%	50.1%
特定資産構成比率	48.0%	42.6%	41.9%	42.7%	41.9%
流動資産構成比率	8.2%	8.1%	8.3%	8.0%	7.9%
固定負債構成比率	3.3%	3.3%	3.2%	3.0%	2.9%
流動負債構成比率	4.2%	4.1%	4.0%	3.9%	3.6%
内部留保資産比率	48.5%	43.1%	42.6%	43.5%	42.9%
運用資産余裕比率	5.1年	4.3年	3.9年	4.1年	3.9年
純資産構成比率	92.5%	92.6%	92.8%	93.1%	93.5%
繰越収支差額構成比率	5.9%	5.5%	5.3%	5.0%	3.6%
固定比率	99.2%	99.2%	98.8%	98.8%	98.5%
固定長期適合率	95.8%	95.8%	95.5%	95.7%	95.5%
流動比率	195.8%	198.9%	207.4%	206.6%	221.5%
総負債比率	7.5%	7.4%	7.2%	6.9%	6.5%
負債比率	8.1%	8.0%	7.7%	7.4%	7.0%
前受金保有率	204.2%	210.6%	216.3%	218.3%	235.2%
退職給付引当特定資産保有率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
基本金比率	99.2%	99.2%	99.3%	99.4%	99.5%
減価償却比率	58.6%	52.7%	52.4%	53.8%	54.6%
積立率	122.8%	124.7%	123.8%	122.4%	117.8%

②資金収支計算書関係

ア)資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

収入の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
学生生徒等納付金収入	5,995,056	5,995,506	5,743,599	5,554,434	5,336,857
手数料収入	108,329	106,282	96,021	89,671	83,510
寄付金収入	13,273	31,806	29,445	25,957	12,895
補助金収入	515,832	918,765	1,021,742	1,166,520	1,010,267
資産売却収入	560	0	0	400	0
付随事業・収益事業収入	57,633	53,994	65,803	57,601	50,898
受取利息・配当金収入	96,633	83,415	63,115	51,733	56,181
雑収入	233,205	149,644	310,821	204,775	239,816
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	2,464,523	2,379,733	2,268,477	2,176,218	1,932,641
その他の収入	7,549,309	12,903,127	15,742,004	14,786,254	7,433,768
資金収入調整勘定	△2,644,203	△2,573,122	△2,614,054	△2,432,274	△2,388,202
前年度繰越支払資金	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,155
収入の部合計	19,457,891	25,081,936	27,738,174	26,587,193	18,519,786

支出の部	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費支出	3,810,030	3,810,834	4,002,768	3,843,189	3,943,602
教育研究経費支出	2,030,652	2,496,021	2,843,934	2,385,941	2,432,716
管理経費支出	309,017	276,995	276,422	291,145	317,387
借入金等利息支出	7,481	6,570	5,659	4,748	3,837
借入金等返済支出	47,760	47,760	47,760	47,760	47,760
施設関係支出	1,139,280	3,871,817	215,955	212,518	779,256
設備関係支出	182,701	518,499	796,971	261,792	149,071
資産運用支出	4,462,000	6,702,982	12,300,000	12,303,054	3,906,336
その他の支出	2,540,013	2,484,885	2,463,472	2,588,540	2,486,189
資金支出調整勘定	△103,829	△145,628	△120,671	△102,648	△91,227
翌年度繰越支払資金	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,154	4,544,859
支出の部合計	19,457,891	25,081,936	27,738,174	26,587,193	18,519,786

イ)活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金 収入計	6,922,359	7,230,592	7,215,394	7,079,958	6,719,612
教育活動資金 支出計	6,149,700	6,583,850	7,123,124	6,520,274	6,693,706
差引	772,659	646,742	92,270	559,684	25,906
調整勘定等	△23,780	△17,924	△229,964	△41,795	△265,828
教育活動資金収支 差額	748,879	628,818	△137,694	517,889	△239,921
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動 資金収入計	3,967,857	10,130,202	12,159,655	8,059,314	4,901,331
施設整備等活動 資金支出計	5,771,981	11,090,315	12,312,926	8,784,224	4,828,327
差引	△1,804,124	△960,113	△153,271	△724,910	73,004
調整勘定等	△13,736	34,272	4,203	16,176	△40,659
施設整備等活動 資金収支差額	△1,817,860	△925,841	△149,068	△708,734	32,345
小計（教育活動資金収 支差額＋施設整備等活 動資金収支差額）	△1,068,981	△297,023	△286,762	△190,845	△207,576
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金 収入計	3,519,825	2,710,263	3,588,903	6,563,752	2,439,451
その他の活動資金 支出計	2,485,799	2,434,825	3,407,438	6,527,657	2,438,171
差引	1,034,026	275,438	181,465	36,095	1,280
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金 収支差額	1,034,026	275,438	181,465	36,095	1,280
支払資金の増減額（小 計＋その他の活動資金 収支差額）	△34,955	△21,585	△105,297	△154,750	△206,296
前年度繰越支払資金	5,067,741	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,154
翌年度繰越支払資金	5,032,786	5,011,201	4,905,904	4,751,154	4,544,858

ウ)財務比率の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支 差額比率	10.8%	8.7%	△1.9%	7.3%	△3.6%

③事業活動収支計算書関係

ア)事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動収支	事業活動収入の部					
	学生生徒等納付金	5,995,056	5,995,506	5,743,599	5,554,434	5,336,857
	手数料	108,329	106,282	96,021	89,671	83,510
	寄付金	20,254	43,983	13,156	22,179	12,975
	経常費等補助金	515,832	896,153	986,209	1,151,520	995,636
	付随事業収入	57,633	53,994	65,803	57,601	50,898
	雑収入	233,205	149,644	310,905	204,777	239,824
	教育活動収入計	6,930,309	7,245,562	7,215,693	7,080,182	6,719,700
	事業活動支出の部					
	人件費	3,821,637	3,814,215	3,909,161	3,794,413	3,936,357
	教育研究経費	2,866,327	3,341,814	3,780,044	3,367,636	3,387,729
	管理経費	373,459	350,216	339,877	355,387	374,697
	徴収不能額等	0	0	0	0	0
	教育活動支出計	7,061,423	7,506,245	8,029,082	7,517,436	7,698,783
教育活動収支差額	△131,114	△260,683	△813,389	△437,254	△979,083	
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	96,657	83,440	63,139	53,891	60,505
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0	0
	教育活動外収入計	96,657	83,440	63,139	53,891	60,505
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	7,481	6,570	5,659	4,748	3,837
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
	教育活動外支出計	7,481	6,570	5,659	4,748	3,837
教育活動外収支差額	89,176	76,870	57,480	49,143	56,667	
経常収支差額	△41,938	△183,813	△755,909	△388,111	△922,416	
事業活動収入の部						

特別収支	資産売却差額	560	0	0	400	0
	その他の特別収入	12,051	28,884	54,155	20,689	20,512
	特別収入計	12,611	28,884	54,155	21,089	20,512
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	2,669	134	365,965	8,607	2,127
	その他の特別支出	7,292	0	0	0	0
	特別支出計	9,961	134	365,965	8,607	2,127
	特別収支差額	2,650	28,750	△311,810	12,482	18,385
基本金組入前当年度収支差額	△39,288	△155,063	△1,067,719	△375,629	△904,030	
基本金組入額合計	△2,911,006	△96,614	△150,000	0	△11,339	
当年度収支差額	△2,950,294	△251,677	△1,217,719	△375,629	△915,369	
前年度繰越収支差額	6,743,158	3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930	
基本金取崩額	0	0	1,059,737	120,354	0	
翌年度繰越収支差額	3,792,864	3,541,187	3,383,205	3,127,930	2,212,560	

(参考)

事業活動収入計	7,039,577	7,357,886	7,332,987	7,155,162	6,800,717
事業活動支出計	7,078,865	7,512,949	8,400,706	7,530,791	7,704,747

イ) 財務比率の経年比較

比 率	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率	54.4%	52.0%	53.7%	53.2%	58.1%
人件費依存率	63.7%	63.6%	68.1%	68.3%	73.8%
教育研究経費比率	40.8%	45.6%	51.9%	47.2%	50.0%
管理経費比率	5.3%	4.8%	4.7%	5.0%	5.5%
借入金等利息比率	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
事業活動収支差額比率	△0.6%	△2.1%	△14.6%	△5.2%	△13.3%
基本金組入後収支比率	171.5%	103.5%	117.0%	105.2%	113.5%
学生生徒等納付金比率	85.3%	81.8%	78.9%	77.9%	78.7%
寄付金比率	0.4%	0.7%	0.4%	0.4%	0.3%
経常寄付金比率	0.3%	0.6%	0.2%	0.3%	0.2%
補助金比率	7.3%	12.5%	13.9%	16.3%	14.9%
経常補助金比率	7.3%	12.2%	13.5%	16.1%	14.7%
基本金組入率	41.4%	1.3%	2.0%	0.0%	0.2%
減価償却額比率	12.6%	12.0%	12.4%	13.9%	13.1%

経常収支差額比率	△0.6%	△2.5%	△10.4%	△5.4%	△13.6%
教育活動収支差額比率	△1.9%	△3.6%	△11.3%	△6.2%	△14.6%

(2)その他

①有価証券の状況

(単位：千円)

種 類	貸借対照表計上額	時 価	差 額
債券	8,289,458	8,259,844	△29,614
投資信託	81,363	81,331	△32
その他	0	0	0
合 計	8,370,821	8,341,175	△29,646
時価のない有価証券	600,000		
有価証券合計	8,970,821		

②借入金の状況

(単位：千円)

借入先	期末残高	利率	返済期限	借入対象資産
日本私立学校振興・共済事業団	45,540	年2.1%	R 8. 9. 15	福山平成大学看護学部棟
日本私立学校振興・共済事業団	51,330	年1.7%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
日本私立学校振興・共済事業団	23,640	年1.8%	R10. 3. 15	(学)福山大学社会連携推進センター
合 計	120,510			

③学校債の状況

学校債は発行していない。

④寄付金の状況

(単位：千円)

寄付金の種類	金 額
特別寄付金	12,895
一般寄付金	0
現物寄付	5,960
計	18,855

⑤補助金の状況

(単位：千円)

補助金の種類	金 額
国庫補助金	1,005,805
地方公共団体補助金	4,462
その他	0
計	1,010,267

⑥収益事業の状況

私立学校法に規定する収益事業は行っていない。

⑦関連当事者等との取引の状況

ア) 関連当事者

該当取引なし。

イ) 出資会社

該当取引なし。

⑧学校法人間財務取引

該当取引なし。

⑨経営状況の分析、経営上の成果と課題、今後の方針・対応方策

令和5年度決算における基本金組入前当年度収支差額は904,030千円の支出超過であった。しかしながら、運用資産余裕比率は3.9年で全国平均（令和4年度）1.5年の2.6倍と十分な資産を有しており、総負債比率も6.5%で全国平均（令和4年度）14.0%を大きく下回っており、財務状況は極めて安定しているといえる。

財政面に関しては安定的に推移しているが、事業活動収支を黒字にすることが当面の課題である。そのためには、収容定員充足率の向上による安定した学納金の確保、経費削減や効率的支出を行いつつ、快適な修学環境の維持・向上のための施設・設備の整備・充実、大学の魅力を的確に伝えるための広報活動の充実が必要である。

令和3年度以降収容定員充足率が低下しているが、その要因としては、令和2年以降新型コロナウイルス感染症の影響で募集活動の展開が困難であった（対面によるオープンキャンパスや高校訪問等を中止した）ことのほか、近年の近隣大学の入学引き下げにより入学金が相対的に高額となり、このことが受験、入学手続きに影響していることも考えられる。そのため、令和6年度入学生からは入学金の減額等の学納金の改定を行った。今後はより一層の積極的な募集活動の展開や広報活動の充実を行い、受験者、入学手続き者、入学者の増加を図り、安定した学納金収入を目指す。

参考 設置する学校・学部・学科等の学生数の状況(令和6年5月1日現在)

【福山大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数	
学 部	経済学部	経済学科	332	180	167	690	649	
		国際経済学科	34	40	16	190	107	
		税務会計学科	69	50	34	200	151	
	人間文化学部	人間文化学科	88	50	40	200	185	
		心理学科	191	70	77	220	242	
		メディア・映像学科	99	50	60	200	190	
	工学部	電気電子工学科	51	30	14	120	58	
		建築学科	109	70	56	280	227	
		情報工学科	111	60	47	210	212	
		機械システム工学科	35	50	9	200	77	
	生命工学部	生物科学科	75	50	23	200	89	
		健康栄養科学科	48	40	26	190	105	
		海洋生物科学科	282	110	107	410	424	
	薬学部	薬学科(6年制)	330	110	103	860	618	
計			1,854	960	779	4,170	3,334	
大 学 院	経済学研究科	修士課程 経済学専攻	3	8	2	16	3	
	人間科学研究科	修士課程 心理臨床学専攻	4	10	3	20	12	
	工学研究科	修士課程 電子・電気工学専攻	1	2	1	4	3	
		修士課程 建築学専攻	2	3	2	6	3	
		修士課程 情報処理工学専攻	4	2	3	4	4	
		修士課程 機械工学専攻	0	2	0	4	0	
		博士前期課程 生命工学専攻	2	8	2	16	3	
	修士課程、博士前期課程 計			16	35	13	70	28
	工学研究科	博士課程 電子情報工学専攻	0	2	0	6	0	
		博士課程 地域空間工学専攻	0	3	0	9	0	
		博士課程 設計生産工学専攻	0	2	0	6	0	
博士後期課程 生命工学専攻		0	4	0	12	1		
薬学研究科	博士課程 医療薬学専攻	2	3	2	12	3		
博士課程、博士後期課程 計			2	14	2	45	4	
計			18	49	15	115	32	
合 計			1,872	1,009	794	4,285	3,366	

【福山平成大学】

(単位：人)

学部等		学科等	志願者数	入学定員	入学者数	収容定員	現員数
学部	経営学部	経営学科	80	50	45	200	191
	福祉健康学部	福祉学科	54	60	26	240	98
		こども学科	67	50	39	200	162
		健康スポーツ科学科	138	100	98	400	365
	看護学部	看護学科	208	80	75	320	310
計			547	340	283	1,360	1,126
大学院	経営学研究科	修士課程 経営情報学専攻	0	5	0	10	0
	スポーツ健康科学研究科	修士課程 スポーツ健康科学専攻	2	5	2	10	5
	看護学研究科	修士課程 看護学専攻	3	5	3	10	5
	計			5	15	5	30
専攻科	助産学専攻科		20	10	9	10	9
合計			572	365	297	1,400	1,145

収容定員充足率(毎年度5月1日現在)

(単位：%)

学校名等		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福山大学	学部	93.1	90.6	87.5	83.2	80.0
	大学院	36.5	40.0	35.7	31.3	27.8
福山平成大学	学部	85.8	84.0	84.1	83.4	82.8
	大学院	30.0	26.7	26.7	33.3	33.3
	専攻科	70.0	100.0	70.0	90.0	90.0